

ダイバーシティと創造的思考力の関係

参加
無料

ダイバーシティという単語から思い浮かべる光景は人それぞれです。性別、障がいの有無や種類、年齢、性的指向・性自認、国籍、エスニシティ、宗教、言語、信条など多様な項目があげられます。たとえば家族形態や出身地もその項目に入るでしょう。ダイバーシティのどの項目を重視するかは、その人の知識、経験、価値観、興味関心、生活や仕事で抱えている課題などによっても違います。ダイバーシティへのある視点が思い浮かぶと、他の視点が忘れられることも少なくありません。性的指向・性自認とくくっても、多様な性的指向があり、性自認があります。政府は社会のあらゆる分野において2020年までに指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度とする目標を掲げています。なぜ、ダイバーシティを進める必要があるのでしょうか。それは、ダイバーシティが創造的思考力を促すからだと思います。これについて話題提供をし、話し合います。

日時

2017.8.3.(木)
講演会13:30~14:30
懇話会14:30~15:30

会場

森林総合研究所 2階 大会議室
(TV会議にて支所等に中継あり)

講師

柘植 あづみ 氏
明治学院大学 社会学部社会学科教授
(国研)森林機構ダイバーシティ推進本部アドバイザー



講師プロフィール：柘植 あづみ (つげ あづみ)氏 1960年、三重県生まれ。1994年お茶の水女子大学大学院博士後期課程単位取得退学、1996年博士（学術）。北海道医療大学教員を経て、明治学院大学社会学部教授。主な著書に『生殖技術—不妊治療と再生医療は社会に何をもたらすか』（みすず書房、2012年）、『妊娠を考える—くからだ>をめぐるポリティクス』（NTT出版、2010年）、『妊娠—あなたの妊娠と出生前検査の経験を教えてください』（洛北出版、2009年、共著）など。現在、長野県の信濃毎日新聞に月1回のコラムを執筆中。



問合せ先

森林総合研究所 ダイバーシティ推進室
Tel 029-829-8360 / Email : geneq@ffpri.affrc.go.jp

